

九州における身近な地熱利用に関する研究

1. 九州における身近な地熱利用に関する研究

添付する文献

以下の文献を添付。頁番号は、通しではないので注意（文献などの頁数は、配付資料の頁数には加算せず）。

- [1] 第45回熱シンポジウム「バイオクライマティックデザインの視点から地域・都市・建築の環境を考える」（2015.10.31と11.01、熊本県立大学大ホールで開催）のプログラム
- [2] 辻原万規彦：熊本での身近な地熱利用，第45回熱シンポジウム「バイオクライマティックデザインの視点から地域・都市・建築の環境を考える」（日本建築学会編），日本建築学会，pp. 35～42，2015.10.

関連する文献

- ・辻原万規彦，今村仁美：九州における噴気を利用した家庭用設備の利用実態，日本建築学会技術報告集，第41号，pp. 255～260，2013.2.（CiNiiなどからダウンロード可能）
- ・辻原万規彦，今村仁美：噴気を利用した家庭用の設備-九州内の4集落の比較-，日本建築学会大会（東海）学術講演梗概集，D-2，pp. 537～538，2012.9.（辻原のホームページやCiNiiなどからダウンロード可能）

研究の狙い

- ・従来の建築環境工学ではあまり注目されていなかった研究対象や研究方法を探りたい。
- ・大規模な地熱発電所での地熱エネルギーの利用ではなく，小規模ながら日常生活に密着した地熱エネルギーの利用方法を掘り起こしたい。
- ・地熱エネルギー利用の効率や削減効果を調べるのではない方法で有用性に言及してみたい。

研究の経過

2009年 熊本日日新聞で，岳の湯に関する記事を見つける

2010年 4年生の高野晴香さんの卒業論文『小国町における地熱を利用した共同施設と住宅設備に関する研究』→日本建築学会九州支部研究発表会で発表

2011年 平成22年度（第19回）財団法人トステム建材産業振興財団助成金「未活用エネルギーとしての地熱の利用による地域共同体の維持と観光への寄与に関する研究」に採択（現

在は、一般財団法人住環境財団に）→杖立温泉，鰻湯温泉，別府温泉での現地調査（11月）→2012.01 報告書の提出

2012年02月 日本建築学会技術報告集（査読付き）に投稿→07月採用決定→2013年02月発行

2012年04月 日本建築学会大会学術講演梗概集に投稿→09月学術講演会で発表

2015年02月 熊本県立大学環境共生フォーラム（国公私3大学環境フォーラム，熊本県立大学にて）でポスター発表

2015年06月～07月 補足調査（雲仙市，九重町）→第45回熱シンポジウムへ原稿投稿

2015年10月 第45回熱シンポジウム

2. 参考 URL

[1] 日本建築学会 環境工学本委員会 熱環境運営委員会 バイオクライマティックデザイン小委員会

<http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/sl4/>